

第3回「未来を、ともに。カフェ」

2018/07/01

日時・場所	2018/7/1(13:00～15:00)・まちラボおおみや	
参加者	ファン・サポーター21名、地域関連団体の皆さま8名、森 正志 代表取締役社長、久保田 剛 取締役事業本部長、小笠原 清孝 取締役管理本部長、他クラブスタッフ11名	
カテゴリー	ご意見・ご提案	内容
まちづくり (新スタジアム)	試合日以外のスタジアムの使い方	試合開催日以外の日においてもスタジアム周辺が賑わえる状況であることが重要。
	大宮駅からスタジアムまでの経済効果	各エリアポイントが運動して経済効果を生み出す流れを作ることが重要。
	歴史、スポーツ、レクリエーションの融合	大宮公園全体を一つの観光資源と考え、歴史、スポーツ、レクリエーションそれぞれで分断することのないような公園づくりする。
	公園の緑と青い空	NACK5スタジアム大宮のスタンドから見える公園の緑と青い空が大好き。公園と一体となったスタジアムにする。
	プロ野球球団を誘致	プロ野球チームを誘致して一緒に盛り上げる。
	野球場とつなげる	現在のスタジアムと野球場につながるスタンドを建設して、観客席を増加する。
	商店街と関わりを持つ	スタジアムまでを大宮の街として面で考えるにしろ、ベースは商店街あつての大宮であり、商店街の意見を尊重する。
	大宮第1公園にスタジアムを作る	第2公園ならば大宮駅から徒歩圏内であるから許容範囲ではあるが、NACK5スタジアムがある第1公園に新スタジアムがあるべき。
	街中であって欲しい	どれだけ魅力的なスタジアムであっても、駅から離れていたり、大宮ではない場所にあったらお客さんの足は遠のく。あくまで大宮の街中であってほしい。
	他スポーツの催しと重ならない調整	様々なスポーツを楽しめるようにすることは大事だが、大宮公園周辺で行われる様々な行事と重ならないような調整も必要。
	サポーターは応援しに行く	多機能複合型のスタジアム、街の課題を解決できるスタジアムを否定するつもりはないが、サポーターはサッカーを観ること、応援することが一番の楽しみ。
	サッカー専用スタジアム	陸上競技場だけはやめてほしい。サッカーを観るためのサッカー場にする。
	陸上競技場形式のスタジアム	歴史や気持的に、ぜひ専用スタジアムであってほしい。ただし採算性を考えた場合陸上競技場形式のスタジアムもやむを得ない。
	女性、子供等みんなで行くスタジアム	例として父親だけが、サッカー観戦に行くのではなく、試合中であっても、母親や子供たちも楽しめる施設（エリア）があり、家族みんなでスタジアムに行きやすい環境を作る
	サッカーが見やすいスタジアム	サッカーの見やすさにはこだわってほしい。NACK5スタジアム大宮の良さはそこであるし、ビジターの人は見やすさに驚く。ほどよくコンパクトで見やすさを損なわないスタジアムにする。
	スポーツクラブがあるスタジアム	多種目のスポーツが楽しめるスポーツクラブがあるスタジアムにする。
	結婚式ができるスタジアム	結婚式場を併設したスタジアムにする。
	学校があるスタジアム	学校を併設したスタジアムにする。グラウンドは人工芝で子供たちが遊べるようにする。
	競輪場と一体となったスタジアム	ピッチとバンクが移動式で入れ替えのできるサッカー場と競輪場と一体となったスタジアムにする。
	ミュージアムがあるスタジアム	アルディージャの歴史が知れるミュージアムがあるスタジアムにする。
	総合施設（生涯学習センター）があるスタジアム	老若男女、有効活用できる施設にすることにより、大宮公園を生活の一部に考えられるようなエリアとする。
	図書館、研修施設、公民館があるスタジアム	文武両道という言葉があるように、スポーツ施設だけでなく、普段より誰もが気軽に立ち寄れる施設にする。
	商業施設のあるスタジアム	試合開催日以外も賑わうスタジアムになることや、試合開催日でもサッカー観戦以外でも用事を済ますことができるエリアとする。
	雑貨屋のあるスタジアム	例として雑貨屋をあげたが、観戦初心者等を試合に連れてきやすい環境となるよう、サッカー以外の面からも集客を考え、周辺に様々な店舗を設置する。
	温浴施設のあるスタジアム	男女世代問わず、普段より集まりやすい温浴施設があることで、試合等の情報をそこで収集し、サッカー観戦に導く。
	最先端スタジアム	スタジアム自体のデザインに特徴があり、芸術的にも注目をあびることで公園に足を運んでほしい。また、ゲーム中でも多面的にサッカー観戦できるような、ICTを駆使したスタジアムにする。
	応援等声の届くスタジアム	スタジアム全体が一体となってアルディージャを応援している雰囲気により一層選手に伝わるような、音響設備や反響音設備にする。
	子供食堂のあるスタジアム	子供食堂の設備があり、食育のできる環境がある施設にする。
	バリアフリーなスタジアム	障がいを持っている方に対してだけではなく、一般の方にとってもバリアフリーなスタジアムは快適である。できる限り不要な段差がないスタジアムにする。
	埼玉スタジアム開催はしない	基準に満たないことが要因だとしても、以前のように埼玉スタジアムでの開催は必要ない。
	特徴のあるスタジアム	日本で一番ピッチに近いスタンドを持つスタジアム等、特徴のあるスタジアムにする。
	防災施設（防災備蓄のある）のあるスタジアム	公園のプランニングと合わせて、防災最重要拠点として役割を果たせるスタジアムにする。
	駐車場のあるスタジアム	駐車場をどうするかは並行してしっかり考える。公共交通機関を推奨することはわかるが、体が不自由な場合など車でないと来られない人もいる。
	収容人数の多いスタジアム	ある程度の収容人数がないと新しいお客さんの観戦機会を創出できない。人気カードこそライトファンに体験してもらおうと好きになってもらえと思うが、今の収容人数では友達紹介用の招待券すら使えない。
	コレオがやりやすいスタンド	VIP用のバルコニー席をゴール裏に設けてしまうと応援の一体感が出ないしコレオなどもできない。ゴール裏は応援文化に配慮した形状にする。
	きれいな芝生が一番大事	多機能型にしたり、屋根をつけることで芝生が傷んでいるのは本末転倒。ハイブリッドターフなどの導入も含めて、より良いピッチで試合ができる工夫をする。
	多目的なスポーツが楽しめる施設があるスタジアム	プールやスタジオ、体育館機能など「サッカーを観る」だけではなく「スポーツをする」ことができる場にする。
	NACK5スタジアム大宮は残したい	新しいスタジアムを建てるならば、NACK5スタジアムは残して、アカデミーや平日開催試合で活用する。三ツ沢のような位置づけ。歴史、伝統、愛着があるから完全になくなるのは寂しい。
	経済効果をアピール	街に経済効果があることをアピールして、スタジアム建設が必要であることを県や市に理解してもらう。
	県や市にスタジアム建設を提案	県や市にスタジアム建設を提案する。
	クラブ公式サイトで活動の報告	スタジアム建設に向けて、各自が行った活動についてクラブ公式サイトで報告をするコーナーを設ける。
	仲間を増やす	スタジアム建設に向けて、各自が情報共有し、仲間を増やす。
	クラブから発信	クラブがスタジアム建設に向けて、現状や方針を発信していく。
	メディアにアピール	スタジアム建設に向けてメディアに情報を発信して、気運を高める。
	選手から発信	選手が学校訪問時等に子供たちにスタジアム建設に向けての情報を発信する。
健康/福祉 (総合型スポーツクラブ)	子どもがクラブに戻ってくる環境	子どもたちが大人になってもクラブに戻ってくるような環境、仕組みを考える。
	放課後遊ぶ児童の減少	現代では放課後に校庭で遊ぶ子どもが少ない。その子たちが学校以外でも遊べるような場所づくりをする。
	スポーツ種目を増やす	体力を使わずに手軽にできるマインドスポーツ（ダーツ、囲碁など）やニュースポーツの積極的な推進をする。
	ボール一つで出来るサッカーの特性を有効利用	ボール一つあればできるサッカーの特性を有効に活用してコミュニティを形成、拡大する。
	スポーツへの垣根を低く	スポーツを「する」ことへのハードルが高い人は多い。もっと気軽に競える、楽しむことができる場を提供する。
	介護福祉事業	高齢化社会に向けて、中高年層の取り込みは特に重要。
	施設への来訪	スポーツに対してネガティブな人は多い。継続的に足を運びやすい場を作ることが大切。
	軽運動教室の開催	自宅でも持続的に取り組めるものやプログラムの提供、普及。ストレッチは一番取り組みやすい。
	中高年層への取り組み	身体を元気に動かすことができる年齢層の取り組みに注力。大人向けのクリニックを増やす。
	フィットサルの普及	健康増進やコミュニティづくりの一環として、もっと気軽にフィットサルを取り入れてもらえるようにPRしていく。
地域貢献（観光、商業） 社会貢献（CSR）	女性がスポーツを楽しむ機会の提供	女性を含むMIX開催をする等、女性がもっとスポーツに親しみ機会の提供する。
	栄養学やサプリメントの知識向上	スポーツ栄養学や食育に関する知識向上のための講演やセミナーを増やす。
	非稼働施設の利用促進や有効活用	スポーツをする場所が見つけられない人と、使われていない施設をつなぎ合わせ、施設の稼働率を上げる。
	アウェイサポーターに向けたおもてなし	アウェイサポーターに向けたおもてなし、MAP等を作成し試合後の飲食店探しを手助けする。
	自転車の活用	クラブハウスやスタジアムにサイクルスタンドを作り、クラブと触れ合う機会をつくる。
	クラブとサポーター、地域の触れ合い	大宮の良さはピッチ、スタジアムの立地。2週間に1度しかないホームゲーム。それ以外にもっとクラブとサポーターと地域が触れ合う機会を作る。
	役所の仕事をとても良く行っていただいている	高齢者に特化したものを増やす。
	大人向けサッカースクール	女性や高齢者層をターゲットにする。
	勝利した際は、グッズを地域や海外に送る	海外の子供たちはもらったユニフォームを長く使ってくれており、いい宣伝になる。
	地域の健康に寄与する事業	健康に良い食堂を設ける等健康に良い施設を作り、クラブハウスを拠点に地域の人を取り込む。
	保育園があるクラブハウス	サッカーに関心が低い人も取り込める環境づくりをする。
	選手が街でPR活動	地域イベントに出てPR活動を行う。